

製品名: eEF2 (リン酸化 Thr56) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05709**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	EEF2 EF2
別名	Elongation factor 2 (EF-2)
遺伝子 ID	1938.0
SwissProt ID	P13639
免疫原	ヒト eEF2 由来の合成リン酸化 (リン酸化 Thr56)

背景

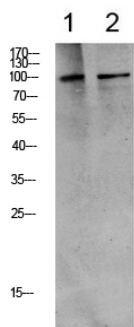
この遺伝子は、GTP 結合性翻訳伸長因子ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質はタンパク質合成に必須の因子であり、新生タンパク質鎖のリボソーム A 部位から P 部位への GTP 依存性転座を促進します。このタンパク質は、EF-2 キナーゼによ

るリン酸化によって完全に不活性化されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: このタンパク質は、新生タンパク質鎖のリボソーム A 部位から P 部位への GTP 依存性転座を促進します。 ,PTM: ジフタミドは 2-[3-カルボキシアミド-3-(トリメチルアンモニウム)プロピル]ヒスチジンです。ジフタミドは、ジフテリア毒素および緑膿菌外毒素 A によって ADP リボシル化される。 ,PTM:EF-2 キナーゼによるリン酸化は EF-2 を完全に不活性化する。 ,類似性:GTP 結合伸長因子ファミリーに属する。 EF-G/EF-2 サブファミリー。 ,サブユニット:mRNA 監視 SURF 複合体の構成要素で、少なくとも ERF1、ERF3 (ERF3A または ERF3B) 、EEF2、UPF1/RENT1、SMG1、SMG8、および SMG9 から構成される。 ,

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



1 3T3
2 HEPG2

各種溶解液のウェスタンブロット分析。抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。